

## 一竜会自治会の紹介

会長 岡田 恭平



私たちが住んでいる白子2丁目地内にある一竜会自治会は、江戸時代に整備された川越街道の宿場町「白子宿」として栄えたところで和光市の文化偉人として有名な童謡詩人『清水かつら』氏、児童文学作家『大石 真』氏が住んでいたゆかりの地としても知られております。当自治会は、戦後間も

なくできた自治会で隣近所との絆も強く、古くから町並みも形成され酒屋八百屋、雛屋、呉服屋、金物屋、布団屋、床屋等の商店街として発展しておりました。毎年、神社のお祭りや盆踊り大会、納涼大会、餅つき、地区対抗運動会等のレクリエーション活動も活発に行われる等、和光市でも古い歴史と伝統をもつ自治会でした。

平成17年頃解散し、しばらく休眠状態が続きましたが、東日本大震災を契機に再び自治会を発足する機運が高まり平成24年5月27日に設立総会を開催し、活気ある商店街としての面影が消えつつある中で新たに和光市の102番目の自治会（60世帯）として復活しました。

自治会活動には防災、防犯（交通安全）、地域福祉、環境保全等様々な問題が潜在しており地域の住民自治の役割は益々重要になってきています。私たち自治会は、毎年、恒例になった新年会でのカラオケ、お年玉賞品大会、抽選会を初めとして6月及び11月に実施するクリーン・オブ・和光（ごみゼロ運動）、7月及び8月に行われる「ラジオ体操」や「夏の花火と夕べの集い」、10月の熊野神社お祭り等の行事への参加、年末に実施する防犯パトロールなどを通じて会員相互の親睦を深めております。

特に一竜会だけの事業ではなく他の自治会との交流を深めるための行事として隣接する大和会、清和会と一竜会の3自治会合同による「防災訓練」、「防犯講演会」及び「人権講演会」を実施し、住民自治意識を広域的な事業として地域間の交流も推進しております。（写真）

私たち自治会は発足して今年で2年目になりますが、今後とも「できる人が、できることを、できる時に、できる範囲で」を自治会活動の基本にして高齢化が進む役員と会員一同お互い助け合い協力し合いながら安全・安心な住みよいまちづくりを目指してまいりたいと思っておりますので関係各位の御支援、御協力よろしくお願ひします。